

近藤栄紀議員



● 高齢運転者対策と代替手段について
● 勝山温泉センター「水芭蕉」について

そのほかの質問
・勝山の今後の農業について

一般質問

問 今、高齢者ドライバーの事故が相次いでいるが、市は高齢者の運転免許の自主返納対策としてどのような支援をしているか。今後、更に返納しやすい環境づくりとして、コミュニティバスの再編やタクシー運賃割引の支援、福井方面へのえちぜん鉄道へのアクセスなど自由に行動できる環境づくりができないか。

答 勝山市では、免許証を自主返納した65歳以上の方を対象に、無期限の勝山市内バス無料乗車券の交付を行っている。また、県内の警察署、免許センターで自主返納時に申請で発行している運転経歴証明書提示することで、各種割引サービスを受けることができる。市独自のタクシー助成については、現在、障害者の方を対象とした制度はあるが、一般の方には対象をを広げることがなりの経費が必要となり、予算的にも難しい。えちぜん鉄道へのアクセスについては、要望により越前竹原駅への運行を行ったが、ほとんど利用がなかったため、廃止した経緯がある。

路線バスやコミュニティ

バスは不特定多数の人が乗り合わせることから、すべての利用者の要望に対応するには限界がある。今後とも様々なご意見をお聞きし、優先順位や運行経費などを十分考慮する中で、最適なバス運行に努めていきたい。

問 水芭蕉は、近年温泉施設としての魅力が低下している。市民の憩いの場はもとよりアウトドア派、インパウンドを含めた観光振興の拠点施設を目指すのであれば、大幅な施設の改修、豊富な源泉の確保が必要だと思いが、如何か。

答 平成2年にオープンし、これまでの間に、必要に応じた設備の交換や老朽化に伴う改修を行ってきたが、25年の間に近隣自治体で類似入浴施設の建設が進むなか、温泉施設としての魅力が相対的に低下していることはいなめない。今後は、故障に伴う修繕及び施設の維持に必要な予防保全に加え、温泉施設にとって最も重要な湯量の確保など、観光施設として競争力を意識した対策を講じる必要があると考える。

北川晶子議員



● 福井勝山総合病院の対応について
● B型肝炎ワクチンの定期接種化について

一般質問

問 ①市長は今回の選挙戦において「5期目は福井勝山総合病院で出産ができるよう推進していきたい」と述べていたが、出産体制の確保に向けてどう対応されるのか伺う。②奥越2次医療圏を守り、中核病院である福井勝山総合病院の利用促進を図るため、大野・勝山地区広域行政事務組合の新たな事業として取り入れる件について、大野市との協議はされているのか伺う。

答 ①福井大学医学部附属病院との出産支援連携体制の良さを市民に更にPRし、新規事業を検討するなど事業を充実強化し、福井勝山総合病院産婦人科外来の受診者数の増加を図ることで、常勤医の確保及び分娩再開を目指していく。

②大野・勝山地区広域行政事務組合で定める組合規約では医療関係の事務は所管されていない。現在「奥越地域医療連携体制協議会」及び「地域協議会」において、奥越健康福祉センター、大野市、勝山市が参加し、二次医療圏である奥越圏

域の医療体制の充実についてなど話し合いを行っている。これら会議を利用して県や大野市と奥越の医療体制の確立について協議していく。

問 平成28年10月1日よりB型肝炎ワクチンが定期接種となり3回の接種が無料になった。対象者は平成28年4月1日以降に生まれた0歳児。しかし10月からの開始では、4月から7月頃生まれた乳児は無料期間が短く、10月前に任意で予防接種を受けた乳児は無料にならない。そこで、定期化初年度に限り対象者すべてに接種費用の助成はできないか伺う。

答 平成28年4月1日以降に生まれた0歳児が対象で、平成28年度は120名ほどが対象となる見込み。ワクチン接種により、B型肝炎ウイルスへの抵抗力ができるなど、B型肝炎の予防に多大な効果がある。

10月から定期予防接種として開始されたばかりであり、対象者外の助成よりも対象者の接種率向上に重点をおき、取り組んでいきたい。